

2025 年度 日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2025 年 5 月 15 日（木），16 日（金）

会場：富山国際会議場

〒930-0084 富山市大手町1 番 2 号：

<https://www.ticc.co.jp/>

会場および Zoom によるハイブリッド開催

- | | | |
|-------------|-------------|---|
| 5 月 15 日（木） | 9:00～9:10 | 開会の挨拶（会議室 201・202） |
| | 9:15～11:05 | 一般講演：パラレルセッション
『臨床試験・臨床研究（1）』（会議室 201・202）
『モデリング』（会議室 203・204） |
| | 11:15～12:20 | 一般講演：パラレルセッション
『疫学』（会議室 201・202）
『因果推論』（会議室 203・204） |
| | 13:20～14:00 | 日本計量生物学会総会・学会賞授与式
（会議室 201・202） |
| | 14:00～16:00 | 特別セッション
『診療二次データを取り巻く現状と解析の際の留意点』
（会議室 201・202） |
| | 16:30～18:20 | 一般講演：パラレルセッション
『統計モデル』（会議室 201・202）
『臨床試験・臨床研究（2）』（会議室 203・204） |

5月16日（金） 9:20～11:10 一般講演：パラレルセッション
『臨床試験・臨床研究（3）』（会議室 201・202）
『数理モデル』（会議室 203・204）
11:20～12:25 企画セッション
『試験統計家認定制度のこれまでとこれから』
（会議室 201・202）
12:25～12:40 若手優秀発表賞表彰（会議室 201・202）

年会参加費：正会員 5,000 円，応用統計学会員 5,000 円，非会員 11,000 円，
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2025 年度

日本計量生物学会年会プログラム

5 月 15 日（木）9:00～18:20（開場 8:40），16 日（金）9:20～12:40（開場 9:05）

会場：富山国際会議場

会場および Zoom によるハイブリッド開催

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

年会参加費：正会員 5,000円，応用統計学会員 5,000円，非会員 11,000円，
学生（正会員，非会員とも）1,000円

チュートリアルセミナー

主 催：日本計量生物学会，応用統計学会

日 時：5 月 16 日（金）14:00～17:00（開場 13:30）

会 場：富山国際会議場 会議室 201・202（会場および Zoom によるハイブリッド開催）

テーマ：一般化ランダムフォレストの理論と因果効果推定への応用

オーガナイザー：坂巻 顕太郎（順天堂大学），川口 淳（佐賀大学）

講師：中村 知繁（順天堂大学）

参加費：正会員 2,000 円，非会員 4,000 円，学生（正会員，非会員とも）1,000 円

計量生物学講演会

主 催：日本計量生物学会

日 時：5 月 16 日（金）17:15～18:45（開場 17:00）

会 場：富山国際会議場 会議室 201・202（会場および Zoom によるハイブリッド開催）

テーマ：Challenges in the design and analysis of clinical trials - with a special focus
on values below a lower limit of quantification and (adaptive) group sequential
trial designs

講師：Carolyn Herrmann（デュッセルドルフ大学）

参加費：会員，年会・チュートリアル参加者は無料

日本計量生物学会年会

5月15日(木)

8:40 開場・Zoom入室開始

9:00~9:10 開会の挨拶(会議室201・202)

日本計量生物学会長 服部 聡

9:15~11:05 一般講演：パラレルセッション

『臨床試験・臨床研究(1)』(会議室201・202)

座長 山本 紘司(横浜市立大学)

臨床試験における治療効果の推定のためのメタアナリシスの活用

花田 圭佑(大阪大学), 小島 将裕(統計数理研究所)

高頻度データの関数主成分スコアを補助変数として用いた多重補完法の提案

近藤 雅大, 長島 健悟, 佐藤 泰憲(慶應義塾大学)

バスケット試験におけるがん種間の類似度を組み込んだ階層ベイズモデルに基づく試験デザイン

北林 遼, 佐藤 宏征(東京科学大学), 野村 尚吾(東京大学), 平川 晃弘(東京科学大学)

3機種以上の臨床検査値相互換算式のノンパラメトリック推定法：軸(超)球面中央値推定法

横田 勲(北海道大学)

Self-Organized Longitudinal Prediction-Classification-Superposition の開発と実装

花澤 遼一, 佐藤 宏征, 平川 晃弘(東京科学大学)

『モデリング』(会議室203・204)

座長 上村 鋼平(東京大学)

多重代入データにおけるモデル選択 一慢性心不全患者における腎機能低下の要因探索への適用

熊野 夏海, 古川 恭治(久留米大学)

ランダム化比較試験における共分散分析モデル誤特定による残差分散不均一性への対処と性能評価

鈴木 大樹(東京理科大学), 坂巻 顕太郎(順天堂大学), 篠崎 智大(東京理科大学)

一般化情報量規準による有効なバスケットの同定

田中 駿也, 大原 良太, 服部 聡(大阪大学)

Bayesian inference of the parametric piecewise accelerated failure time models for immune-oncology clinical trials

徐 行知, 服部 聡(大阪大学)

11:05~11:15 休憩

11:15~12:20 一般講演：パラレルセッション

『疫学』（会議室 201・202）

座長 小向 翔（東京医科大学）

レジストリデータの研究利活用推進のための共有スクリプト開発と運用

熱田 由子（日本造血細胞移植データセンター）、金 夏倫（慶應義塾大学）、
城 友泰（京都大学）、大引 真理恵、田淵 健（日本造血細胞移植データセンター）、
加藤 光次（九州大学）、片岡 圭亮（慶應義塾大学）、諫田 淳也（京都大学）、
神田 善伸（自治医科大学）

ノンパラメトリックベイズを利用した解釈可能なハザード比の推定

折原 隼一郎（東京医科大学）、大東 智洋（東京理科大学）、小向 翔（東京医科大学）

薬剤疫学研究における構造ネスト累積生存時間モデルによる時間依存性治療効果評価事例：スタチンによる心血管系イベントに対する予防効果の評価

藤井 直樹、竹内 由則（横浜市立大学）、篠崎 智大（東京理科大学）、
後藤 温（横浜市立大学）

『因果推論』（会議室 203・204）

座長 田中 司朗（京都大学）

poor-overlap 下での因果推論におけるバイアスのトレードオフ：傾向スコアとアウトカム回帰の異なるモデル特定戦略

奥山 怜央、篠崎 智大（東京理科大学）

二値アウトカムに対する解析的な因果媒介分析の Aranda-Ordaz リンク関数族への拡張

坪田 有司（大阪大学）

多様な海洋生物の出現がミンククジラの出現に与える影響の定量的評価

浦崎 航（東京理科大学）、中川 智之（明星大学）、
Solvang 比呂子（Institute of Marine Research）

13:20~14:00 日本計量生物学会総会・学会賞授与式（会議室 201・202）

14:00~16:00 特別セッション：診療二次データを取り巻く現状と解析の際の留意点

（会議室 201・202）

オーガナイザー：松本 晃太郎（九州大学）

座長：松本 晃太郎（九州大学）

○ 日本の医療リアルワールドデータの課題と展望

弘 新太郎（ファイザー）

○ Primary data collection と Secondary data collection におけるデータの特徴の違い～医師の立場から～

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター）

○ 欠測と測定誤差 — データの不完全性に対する統計アプローチ
古川 恭治 (久留米大学)

○ 測定の信頼性とその評価
大山 哲司 (久留米大学)

○ アンサンブルモデルと Shapley Additive Explanation を用いたリアルワールドデータ解析の
理論と実践
野原 康伸 (熊本大学)

16:00~16:30 休憩

16:30~18:20 一般講演：パラレルセッション

『統計モデル』(会議室 201・202) 座長 野間 久史 (統計数理研究所)
ネットワーク構造が不明な non-IID データにおける因果効果推定
玉野 史結 (東京大学), 塘 由惟, 米岡 大輔 (国立感染症研究所)

Transfer Elastic Net の非漸近推定誤差評価とグループ効果について
塘 由惟 (国立感染症研究所)

たんばく質必要量推定における従来法の課題と新規アプローチの提案
佐藤 俊太郎 (長崎大学), 畑本 陽一, 松本 麻衣 (国立健康・栄養研究所)

観察スケジュールが Mixed-effects models for repeated measures (MMRM) の検出力に与える影響
中倉 章祥 (九州大学), 室谷 健太 (久留米大学)

要約受信者動作特性曲線における公表バイアスの最悪ケースの境界
Yi Zhou (Kobe University/Osaka University),
Ao Huang (University Medical Center Gottingen), Satoshi Hattori (Osaka University)

『臨床試験・臨床研究 (2)』(会議室 203・204) 座長 嘉田 晃子 (藤田医科大学)
主要変数が生存時間変数の場合の Bayesian additive regression trees を用いた既存データの利用
法
地引 涼真, 大東 智洋, 寒水 孝司 (東京理科大学)

ヒストリカルデータを利用する単群臨床試験のベイズ流症例数設定法の改良
村崎 亘 (筑波大学), 大東 智洋 (東京理科大学),
石井 亮太, 丸尾 和司, 五所 正彦 (筑波大学)

抗がん剤第 I/II 相臨床試験におけるレベル集合推定を用いた毒性・有効性に基づく用量集合の推定
勝又 弘樹, 松井 孝太, 松井 茂之 (名古屋大学)

主要評価指標を順序カテゴリーで評価する場合の臨床試験の検定

緒方 涼太, 大山 哲司, 柳川 堯 (久留米大学)

多段階デザインにおける条件付き検出力を用いた中間解析

栗田 凪, 魚住 龍史 (東京科学大学)

5月16日(金)

9:05

開場・Zoom入室開始

9:20~11:10 **一般講演：パラレルセッション**

『臨床試験・臨床研究(3)』(会議室 201・202)

座長 折原 隼一郎 (東京医科大学)

過去データを利用した共変量適応的ランダム化による効率的な平均治療効果の推定

瀬谷 のどか, 田栗 正隆 (東京医科大学)

推定誤差を考慮した盲検下症例数再計算

前田 裕匡, 服部 聡 (大阪大学), Tim Friede (ゲッティンゲン大学病院)

Sensitivity analysis for principal ignorability assumption in principal quantile treatment effect estimation

黒田 晋吾, 橋本 隆正, 作井 将, 水間 浩太郎 (武田薬品工業)

MCMCの再実行を必要としない事前分布の感度解析とtipping-point解析

大東 智洋 (東京理科大学), 菅澤 翔之助 (慶應義塾大学)

ランダム化比較試験に基づく対応分析を利用した有害事象の図示の検討

眞下 奈々, 丸谷 あおい (イーピーエス), 大森 崇 (京都大学)

『数理モデル』(会議室 203・204)

座長 魚住 龍史 (東京科学大学)

Extension of the MERIT Design for OBD Determination with Toxicity and Two Efficacy Endpoints

Hiroaki Matsuda, Shunsuke Hagihara (Ono Pharmaceutical Co., Ltd),

Ying Yuan (The University of Texas MD Anderson Cancer Center)

メディアン差のメタアナリシスにおける統合効果の分散推定

奥田 忠久, 田栗 正隆 (東京医科大学), 林 賢一 (慶應義塾大学)

集団履歴の混合グラフ上のブラウン運動

中道 礼一郎 (水産資源研究所), Jeffrey Thorne (North Carolina State University),

岸野 洋久 (中央大学)

線形変換による阻害定数 K_i の推定にこだわるのは終わりにしませんか
高橋 行雄 (BioStat 研究所)

11:10~11:20 休憩

11:20~12:25 企画セッション：試験統計家認定制度のこれまでとこれから (会議室 201・202)
オーガナイザー：2024 年度試験統計家認定委員会
座長：長谷川 貴大 (塩野義製薬), 柴田 大朗 (国立がん研究センター)

○ 試験統計家認定制度について
長谷川 貴大 (塩野義製薬)

○ 認定試験統計家としての活動
柴田 大朗 (国立がん研究センター), 小山 暢之 (第一三共),
堀口 剛 (京都府立医科大学), 小谷 基 (小野薬品工業)

○ パネルディスカッションと質疑応答
手良向 聡 (京都府立医科大学), 柴田 大朗 (国立がん研究センター),
小山 暢之 (第一三共), 堀口 剛 (京都府立医科大学), 小谷 基 (小野薬品工業)

12:25~12:40 若手優秀発表賞表彰 (会議室 201・202)

12:40 閉会

※一般講演における各演題時間は 20 分 (発表時間 15 分, 質疑応答 5 分) とする.



富山国際会議場 (2F)

